

| | | | |
|----|---|---------|--------------|
| 4年 | 4 | 一億をこえる数 | 組番 名前 () |
|----|---|---------|--------------|

チェック

次の問題に答えましょう。

- ① 次の () にあてはまることばをかきいれましょう。
 たし算の答えを (和)、ひき算の答えを (差)、
 かけ算の答えを (積)、わり算の答えを (商) といいます。
- ② 数字でかきましょう。
 ア 二兆^{ちよう}四千億 (2400000000000)
 イ 1000万を63こ集めた数 (63000000)

問題

むかしの算数の本に吉田光由がかいた「塵劫記(じんこうき)」という本があり、
 その中に「ねずみ算」についてかかれています。



正月に、ねずみ父母いでて、子を十二ひきうむ。おやともに十四ひきになる。
 このねずみ二月には、子もまた子を十二ひきづつうむゆへに、おやともに、
 九十八ひきに成。

(今の言い方にかえると) 1月に、ねずみの父母が、子ども12ひき(オス6ひき、メス6ひき)をうみます。すると、おやとあわせて14ひきになります。この父母ねずみと1月に生まれた子どもの14ひきで、7ペアでき、すべてのペアが子どもを12ひき(オス6ひき、メス6ひき)ずつうみます。すると、おやとあわせて全部で98ひきになります。

じゅんさんは、98ひきになる理由を次のようにせつめいしました。

1月は、おやが2ひきで1ペアです。
 1ペアが12ひきうむので、 $12 \times 1 = 12$ 、 $2 + 12 = 14$ だから、14ひきです。
 2月は、おやが14ひきで7ペアです。
 7ペアが12ひきずつうむので、 $12 \times 7 = 84$ 、 $84 + 14 = 98$ だから、98ひきです。

(1) じゅんさんのせつめいをもとに、3月のねずみの数をもとめるせつめいをするるとどのようになりますか。
 次のかきだしにつづけて、3月のねずみの数をもとめるせつめいを、言葉と式を使ってかきましょう。

3月は、おやが98ひきで、49ペアです。

(例) 49ペアが12ひきずつうむので、 $12 \times 49 = 588$ 、 $98 + 588 = 686$ だから、686ひきです。

かくのごとくに、月に一度ずつ、おやも子も、またまごもひこも月々に十二ひきづつうむ。時に、十二月にはなに程に成ぞ。年中の分、合二百七十六億八千二百五十七万四千四百二ひき也。

(今の言い方にかえると) このように、月に一度ずつ、おやも子も、またまごもひまごも、まい月12ひきずつうみます。12月には、どれくらいになると思いますか?
 1年間で合わせて二百七十六億八千二百五十七万四千四百二ひきになる計算になります。

- (2) 12月の「二百七十六億八千二百五十七万四千四百二」ひきを数字でかきましょう。
 (27682574402)